

JUNKO ONISHI TRIO

Junko Onishi (Piano)

Kunpei Nakabayashi (Bass) / Sota Kira (Drums)

2026 **7月10日(金)**

開場 18:30 開演 19:00

諫早文化会館

中林薫平
(ベース)



吉良創太
(ドラム)



入場料

【指定席】 **3,000円**

【自由席】 **2,000円(大人)**
(2F後部)

1,000円(高校生以下)

【チケット販売中】プレイガイド

- 諫早文化会館〈宇都町〉0957-25-1500
- (有)原田楽器〈本町〉0957-23-3337
- メトロ書店〈アミュプラザ長崎 3F〉095-821-5400
- R&R coffee labo〈多良見町・喜々津駅よこ〉080-6433-3009
- ローソンチケット(Lコード 81557)

※未就学児は入場できません(諫早市補助事業のため、特別料金を設定しています。)

〈主催〉諫早文化会館芸術鑑賞会

〈後援〉諫早市 諫早市芸術文化連盟 諫早市自治会連合会 諫早医師会 諫早商工会議所

【お問合せ先】 諫早文化会館芸術鑑賞会
TEL.0957-25-3910



トリオで魅せる大西順子のピアノリズム

ソロ、カルテットと、さまざまな編成でステージに立ち日本のジャズ界を牽引する

ピアニスト、大西順子が全ての編成の核となるトリオを披露する。

メンバーは中林薫平(ベース)、吉良創太(ドラムス)と

日本のジャズ界を代表する個性的なプレイヤーと共演を重ねた経験を持ち、ジャズシーンを軸に幅広く活躍するふたり。

変化を恐れず挑戦を続ける大西順子の美学がスパークするその瞬間、新たな伝説が生まれる。

大西順子 Junko Onishi (ピアノ)

89年にバークリー音楽大学卒業後、ニューヨークを拠点に活動を開始し、ベティ・カーター、ジョー・ヘンダーソン、ジャッキー・マクリーンら伝説のミュージシャンと共演を果たす。93年にデビュー・アルバム「WOW」を発表。翌年にはセカンド・アルバム「クルージン」が米ブルーノートより発売されたほか、名門ジャズクラブ「ヴィレッジヴァンガード」に日本人として初めて自己のグループで出演するなど輝かしいキャリアを築き、ジャズ・シーンを牽引。クラシックの祭典「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」へ出演した際には、小澤征爾率いるオーケストラとの共演が大きな話題となった。2017年、2つのコンセプトのトリオアルバムを同時リリース。2018年、新たにセクステット、セクステットプラスを結成。2019年、Robert Hurst、Karriem Rigginsを迎えて『JUNKO ONISHI presents JATROIT Live at BLUE NOTE TOKYO』をリリース。2019年より作家 村上春樹の音楽イベント「MURAKAMI JAM」で音楽監督を務める。2021年には大編成「JUNKO ONISHI presents THE ORCHESTRA」が始動。トリオ編成にパーカッショニストが加わったカルテットスタイルの活動も開始。2024年には「ラプソディ・イン・ブルー」の再演をオックスフォード管弦楽団や京都市交響楽団との共演で果たすなど、近年はバンド編成と並行してソロでの活動も積極的に行い、2026年3月キャリア初のソロアルバム『American Classics』をリリース。



中林薫平 Kunpei Nakabayashi (ベース)

1981年生まれ。高校入学と同時に甲南高校ブラスアンサンブル部に入学し、ウッドベースを始める。2005年に活動の拠点を東京に移し山口真文、佐山雅弘、鈴木勲「OMA SOUND」、黒田卓也「aTak」等でプレイする。2008年に自己のカルテットを結成。2022年10人編成の中林薫平オーケストラを立ち上げ、アルバム「circles」をリリース。翌年には同編成の2ndアルバム「Live at COTTON CLUB」をリリース。ジャズだけでなくポップスのサポート、海外からのミュージシャンのサポート、国内外の音楽イベントへの出演など活動は多岐にわたる。



吉良創太 Sota Kira (ドラム)

1989年生まれ、高知県出身。東京音楽大学打楽器科を経て同大学院修士課程修了。大学院在籍中に日本ジャズ界の巨匠、鈴木勲バンドへの加入で本格的なプロ活動を開始。その後、山口真文、西尾健一をはじめ様々なバンド、ミュージシャンのもとで多くの経験を積む。2019年よりマイルスデイビスとの共演で知られる世界的ピアニスト、ケイ赤城トリオに参加。2020年からは大西順子カルテットに加えて全てのバンド構成に参加。STUTS band setのメンバーとしてフジロックやサマーソニックをはじめ大型フェスに出演。ジャズシーンを軸に幅広く活動している。